

R I M A G E[®]

Rimage Catalyst[®] ユーザーガイド
6000 および 6000N



Rimage Corporation

201 General Mills Blvd, Golden
Valley, MN 55427, USA

フリーダイヤル: +1-(800) 445-8288

Rimage Europe GmbH

Albert-Einstein-Straße 26
63128 Dietzenbach, GERMANY

電話: +49 (0)6074.8521.0

Rimage Japan Co., Ltd.

4F Arai #38 Bldg., 2-7-1 Hamamatsu-
cho, Minato-ku, Tokyo 105-0013,

JAPAN

電話: +81-(3) 6452-8780

Rimage Taiwan

2F.-7, No. 508, Sec. 5,
Zhongxiao East Road., Xinyi Dist.,
Taipei City 110, TAIWAN

電話: +886-(2) 2726-0100

**Rimage Information
Technology (Shanghai)
Co., Ltd.**

RM # 206, 207, 2F
No.1 FuXing Zhong Road
HuangPu District
Shanghai, 200025 CHINA

電話: +86.021.5887.8905

Rimage Corporation は、本書に記載されている機器およびソフトウェアを予告なしに改訂する権利を所有しています。Rimage Corporation は、あらゆる個人または組織に通知する義務なく、本書を改訂または記載内容を随時改訂する権利を所有します。

このドキュメントには、発行時に有効であった Web サイトへのリンクが含まれていますが、現在そのサイトが移動している、または無効である場合もあります。本書には、第三者によって所有および運営されているインターネット上のサイトへのリンクが記載されている場合もあります。Rimage Corporation は、第三者のサイトの内容に関しては、責任を負いかねます。

© 2020, Rimage Corporation

Rimage[®], Everest[®] および Rimage Catalyst[™] は、Rimage Corporation の登録商標です。Prism[™] は、Rimage Corporation の商標です。Windows[®] は、Microsoft Corporation の登録商標です。

他のすべての商標および登録商標は、それぞれの所有者の財産です。

本文書の最新版は www.rimage.com/support から入手できます。

目次

はじめに.....	1
本ユーザー ガイドについて.....	1
Catalyst システムについて.....	1
開梱およびセットアップの説明.....	1
重要事項.....	2
サポート問い合わせ先.....	2
オンラインでご覧いただける情報.....	2
テクニカル サポート.....	2
光ディスク記録ソフトウェアの免責条項.....	3
安全性および法令順守に関する情報.....	3
安全のための予防措置.....	3
国特有の注意と警告.....	3
コンプライアンス情報.....	4
Catalyst システムの各部名称.....	5
正面図.....	5
Catalyst システムの各部名称.....	6
Everest® プリンタを含む背面図.....	6
Catalyst システムの各部名称.....	7
Prism™ プリンタを含む背面図.....	7
Catalyst システムの各部名称.....	8
部品情報.....	8
DiscWatch™ 状態表示ランプ.....	8
表示パネル.....	8
システム ボタン.....	8
ディスク ディスペンサ.....	8
警報器.....	8

Catalyst システムの操作.....	9
Catalyst システムの電源を入れる.....	9
Catalyst システムの電源を切る.....	9
Catalyst システムを一時停止する.....	9
Catalyst システムの操作.....	10
ディスクの装着.....	10
ディスクの取り出し.....	10
印刷環境設定.....	10
Catalyst システムの保守.....	11
概要.....	11
注意事項.....	11
予防メンテナンス スケジュール.....	11
診断テスト.....	11
Gemini ユーティリティの操作.....	12
Gemini ユーティリティの開始.....	12
オートローダの表示名の変更.....	12
警報器を有効にする.....	12

はじめに

本マニュアルは、Rimage Catalyst® 6000 および 6000N の設定、操作、およびメンテナンスに必要な事項を説明しています。本マニュアルで使用されている「システム」および「オートローダ」という用語は、Catalyst 製品を意味しています。「プリンタ」という用語は Everest Encore™ または Prism III™ プリンタを意味しています。

Catalyst システムに固有の情報については、『Rimage Catalyst User Guide (Rimage Catalyst ユーザー ガイド)』(www.rimage.com/support) を参照してください。

重要! お使いの Catalyst システムは、本ユーザー ガイドに記載されたモデルと外観が異なる場合があります。

本ユーザー ガイドについて

- 当社ではすべてのバージョンのマニュアルおよび説明書を保持するように努めていますが、当社ウェブサイトで閲覧できる英語バージョンでは常に最新の情報を提供しています。
- 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 10 のパスを示しています。Windows 10 以外の Windows オペレーティング システムのナビゲーションは多少異なる場合があります。
- 本マニュアルでは、情報のタイプに応じて以下の記号が使用されています。

注記: 「注記」には補足情報や特殊な事例に限定して適用できる情報が提供されています。たとえば、特定のバージョンのプログラムに適用するようなメモリ制限や機器の設定、詳細情報は「注記」に記載されます。

ヒント: 「ヒント」は、明記されていない他の方法を提示し、本製品の利点や能力を理解していただく助けとなります。

重要!

- 「重要!」には、タスクの完了に欠かせない情報が提供されます。
- 重要な追加情報。
- 「ヒント」の情報を読まなくてもタスクは完了できますが、「重要!」の記載は必ず読むようにしてください。

カ 注意: 「注意」はこのガイドラインの順守を怠ると、機器、ソフトウェア、またはデータの損失もしくは損傷が生じる恐れがあることを示します。

カ 警告! 「警告!」は、このガイドラインの順守を怠ると、機器を操作もしくはメンテナンスする人物に傷害を与える可能性があることを示します。

Catalyst システムについて

Rimage Catalyst システムは、Everest Encore プリンタまたは Prism III プリンタのいずれでもご利用いただけます。プリンタの詳細については、プリンタに同梱されている『セットアップおよびインストール ガイド』または『ユーザー ガイド』を参照してください。

Catalyst 6000N にはコンピュータ (PC) が組み込まれています。内蔵 PC は、ネットワーク接続可能なコンピュータであり、他のネットワーク上のコンピューターを介して操作することが可能です。Catalyst 6000N は、ネットワークなしで、直接モニタ、キーボード、およびマウスを接続して利用することもできます。

Catalyst 6000 の利用には、外部のコンピュータが必要です。Catalyst 6000 オートローダには、外部 PC は同梱されていません。お客様が PC を用意する必要があります。6000 で使用する PC の最低および最適要件については、Catalyst の仕様を参照してください。本製品に関する技術的仕様は、www.rimage.com/support を参照してください。

開梱およびセットアップの説明

Catalyst システムを開梱するには、オートローダの箱に貼付されている開梱法についてのラベルを参照してください。設定の説明については、製品に同梱されている『セットアップおよびインストール ガイド』を参照してください。

重要事項

本セクションでは、Catalyst システムに関し、サポートのための問い合わせ先、および注意や警告事項について説明します。

本製品に関する技術的仕様は、www.rimage.com/support を参照してください。

サポート問い合わせ先

米国、カナダ、南米	
Rimage Corporation 201 General Mills Blvd, Golden Valley, MN 55427, USA Attn: Rimage Services	電子メール: support@rimage.com 電話: 北米: 800.553.8312 メキシコ/中南米: 952.946.0004 option 2 ファックス: 952.944.7808
ヨーロッパ	
Rimage Europe GmbH Albert-Einstein-Straße 26 63128 Dietzenbach, GERMANY	電子メール: support@rimage.de 電話: +49 (0)6074.8521.0 ファックス: +49 (0)6074.8521.100
アジア/太平洋	
Rimage Japan Co., Ltd. 4F Arai #38 Bldg., 2-7-1 Hamamatsu-cho, Minato-ku, Tokyo 105-0013, JAPAN	電子メール: servicejapan@rimage.co.jp 電話: +81.3.6452.8780 ファックス: +81.3.6452.8785
Rimage Taiwan 2F-7, No. 508, Sec. 5 Zhongxiao East Rd., Xinyi Dist., Taipei City 110, TAIWAN	電子メール: support@rimage.com 電話: +886.2.2726.0100
Rimage China RM # 206, 207, 2F No.1 FuXing Zhong Road HuangPu District Shanghai, 200025 CHINA	電子メール: medical.sales@rimage.cn enterprise.sales@rimage.cn 電話: +86.021.5887.8905

ウェブサイト: www.rimage.com/support	
Rimage サービスにお問い合わせになる際は、以下の情報をご用意ください。 <ul style="list-style-type: none">システムのシリアル番号とソフトウェアのバージョン機能的および技術的な問題点の説明表示されたエラー メッセージ	今後の参考のため、ご使用の Rimage 製品について次の情報をお控えください。 注記: 製品を交換した場合は、必ずシリアル番号を更新してください。
	シリアル番号:
	製品名:
	ご購入日:

オンラインでご覧いただける情報

www.rimage.com/support で、Rimage の世界でトップレベルのサポートとサービスを受けることができます。このオンライン サイトでは次の情報にアクセスできます:

- ソフトウェアおよびファームウェアの最新情報
- 製品仕様
- 最新ドキュメント
- 最新のファームウェアおよびドライバのダウンロード

テクニカル サポート

Rimage では、翌営業日の現地サポート、交換サービス、ソフトウェア サブスクリプション、およびサポートなど、様々な Catalyst システムに関するサービスならびにサポートオプションを提供しています。詳細情報および価格については、Rimage の付加価値再販業者や Rimage までお尋ねください。

重要事項

光ディスク記録ソフトウェアの免責条項

本製品、ソフトウェアおよび説明書は、著作権の所有者もしくは著作権者から書面によるコピーの許可を受けている場合、複製することができます。使用者が著作権を所有する、もしくは、著作権者から複製の許可を取得していない限り、使用者には、著作権法違反ならびに損害賠償および他の賠償の支払いが課せられる恐れがあります。ご自身の権利に関して不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。使用者が著作権を所有せず、また著作権所有者からの許可も得ていない場合、光ディスク、その他のメディア上の著作権のあるマテリアルを無断で複製することは国内および国際上の法令を侵害することになり、厳しい処罰が科せられることとなります。

安全性および法令順守に関する情報

本マニュアルおよび製品に関する指示により、適切で安全な操作が可能になります。以下の表示マークは、ユーザーならびに他の人の身体的傷害および機器損傷の防止を喚起するものです。

安全のための予防措置

安全の確保のため、以下の注意事項をよくお読みになり、内容をご理解された上で機器をご使用ください。

力 警告!

- CD/DVDレコーダのレーザービームには、クラス1レーザーが使用されています。レコーダを開けないでください。すべてのサービス処置は、担当の技術者が行うようにしてください。
- 本書に規定されている以外の方法で、制御または調整機能を使用したり、処置を実施したりすると、有害な放射露光が生じる恐れがあります。
- 本機と光学機器を併用しないでください。併用すると、目を損傷する危険性が大幅に増加します。

力 注意:

- 継続的に火災の危険から身を守るため、交換するヒューズは、同一の種類および定格のものにしてください。すべてのサービス処置は、担当の技術者が行うようにしてください。
- 同梱の交流電源コードのみ、または、標準規格の電源コードをご使用ください。北米以外でご利用になる場合で、各地域の標準規格電源コードの選択についてサポートが必要な場合は、最寄の Rimage にお問い合わせください。
- 本製品はオフィス用機器として設計されています。
- Catalyst 6000N にはリチウム電池が含まれています。リチウム電池を適切でない電池と交換すると爆発する危険があります。古い電池は電池のパッケージに記載された製造業者の指示に従って廃棄してください。

国特有の注意と警告

力 警告!

- *Taiwan:* 警告使用者:
此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。
- *Korea:* 사용자 안내문 :
이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.
※ 사용자 안내문은 “업무용 방송통신기자재” 에만 적용한다.

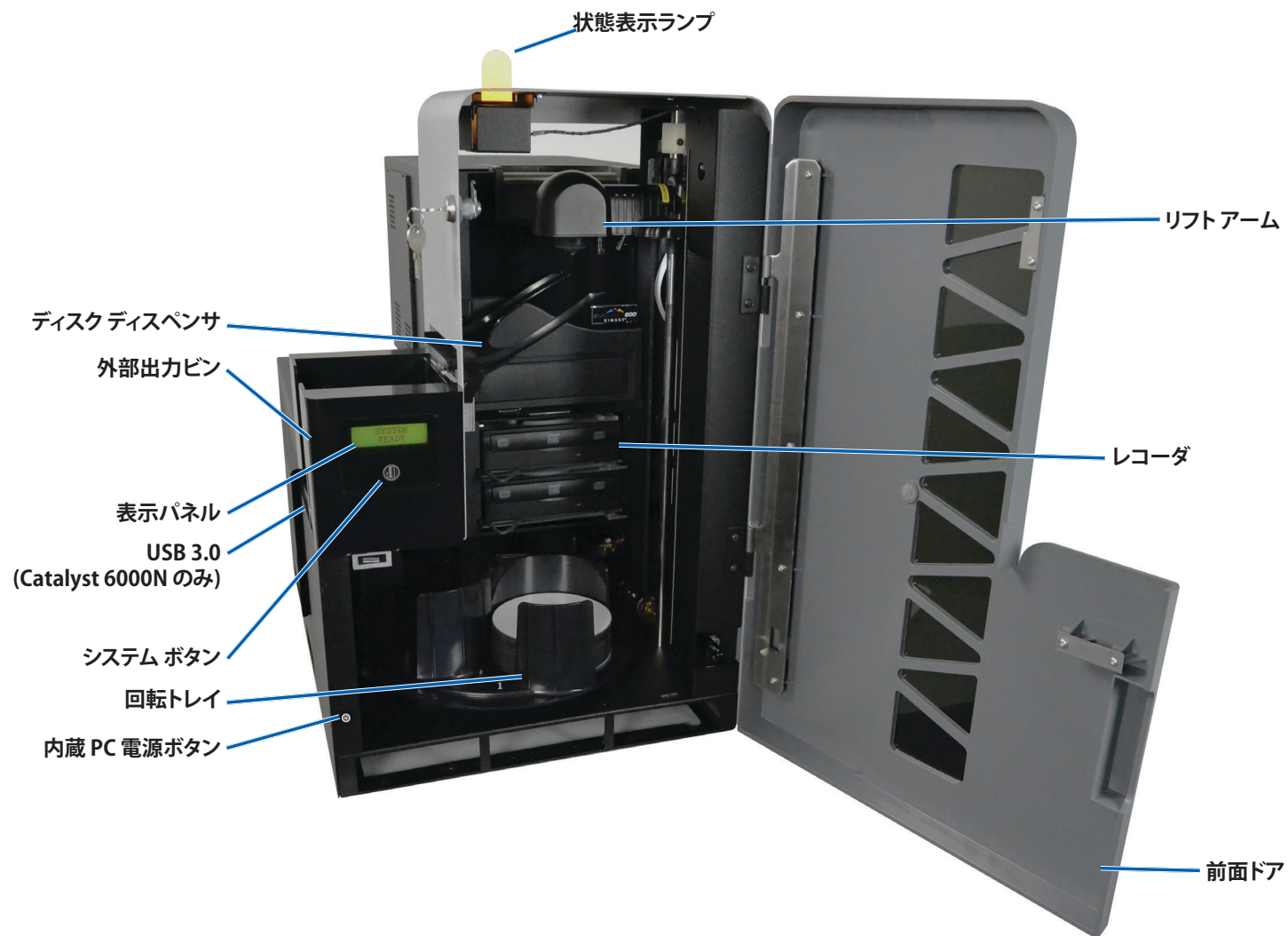
重要事項

コンプライアンス情報

製品	Producer 製品	モデル
	Catalyst 6000N	RAS32E
	Catalyst 6000	RAS32
米国における注意	<p>NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when this equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.</p> <p>This product complies with UL 60950-1, 2nd Edition</p>	
カナダにおける注意	<p>This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003 Issue 5:2012. Cet appareil numerique de la classe A est conforme a la norme NMB-003 du Canada.</p> <p>This product complies with CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-07+A1+A2.</p>	
ヨーロッパにおける注意	<p>This product is in conformity with the EMC Directive (2014/30/EU) and the Low-Voltage Directive (2014/35/EU) through compliance with the following European standards: EN 55032: 2012 Class A Limit; EN 55024: 2010; EN61000-3-2:2014; EN61000-3-3:2013; EN60950-1:2006+A1:2010+A11:2009+A12:2011+A2:2013. The CE mark has been affixed in accordance with the CE Marking Directive 93/68/EEC.</p>	
日本における注意	<p>This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio interference may occur, in which case, the user may be required to take corrective action.</p> <p>Translation:</p> <p>この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A</p>	
オーストラリアにおける注意	<p>This product complies with AS/NZS CISPR32:2013.</p>	
韓国における注意	<p>This is class A digital device. It may cause radio-frequency interference when used in a residential area. In this case, the users are advised to take appropriate precautions.</p> <p>Translation:</p> <p>這是甲類的資訊產品,在居住的環境中使用時,可能會造成射頻干擾,在這種情況下,使用者會被要求採取某些適當的對策。</p>	
台湾における注意	<p>It is certified that foregoing equipment has been certificated under the Framework Act on Telecommunications and Radio Waves Act.</p> <p>위 기기는 전기통신기본법, 전파법 에 따라 인증되었음을 증명 합니다.</p>	

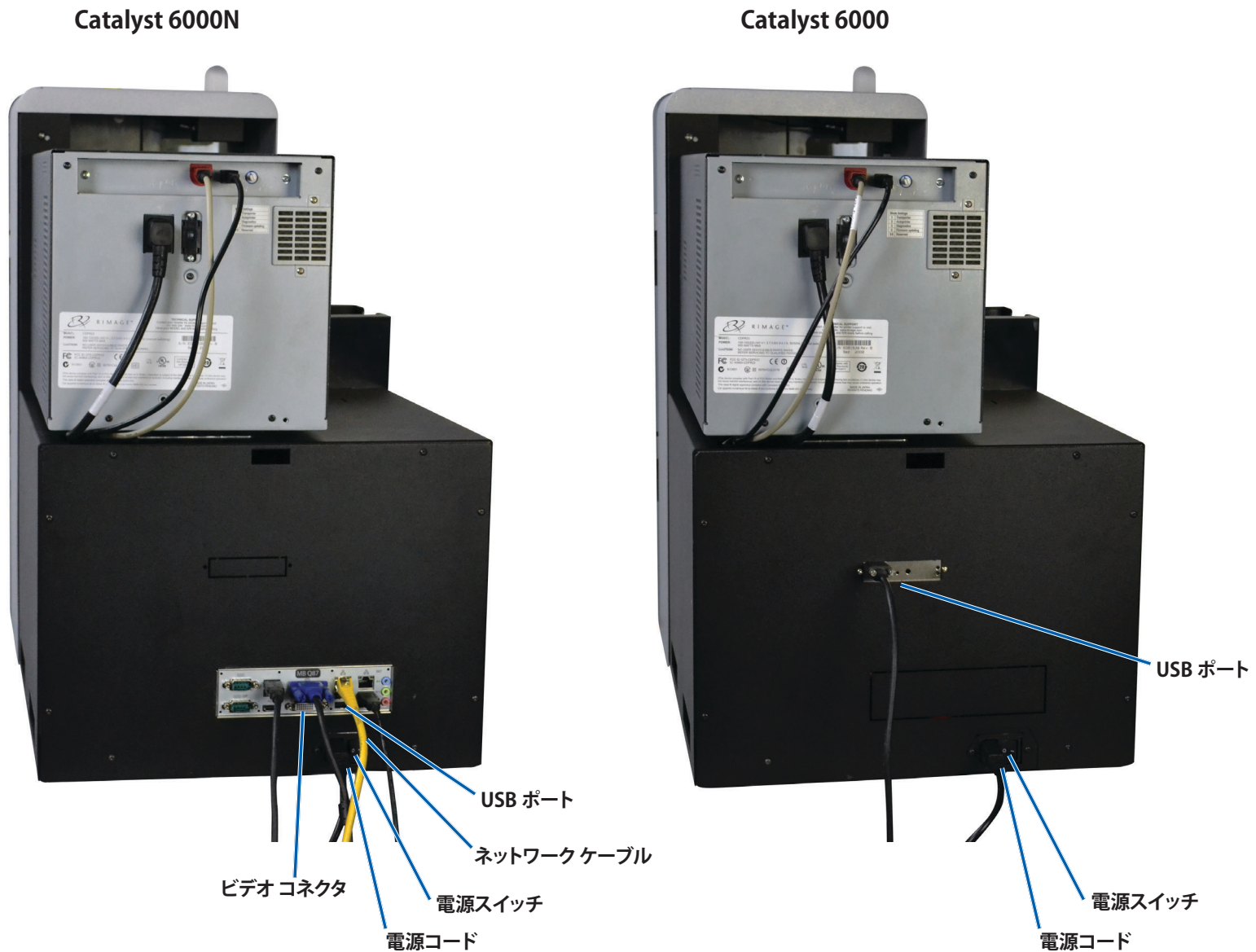
Catalyst システムの各部名称

正面図



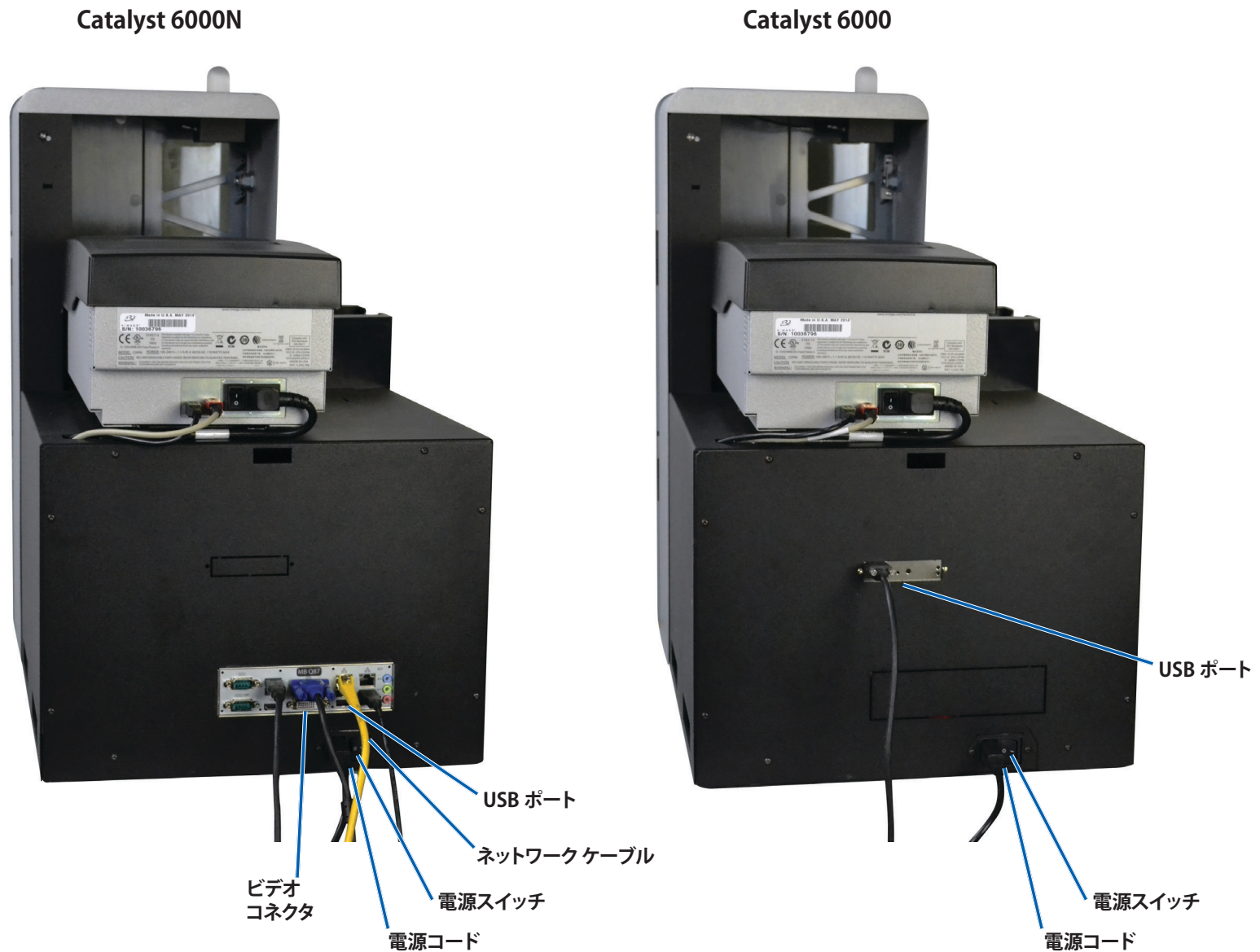
Catalyst システムの各部名称

Everest® プリンタを含む背面図



Catalyst システムの各部名称

Prism™ プリンタを含む背面図








Catalyst システムの各部名称

部品情報

DiscWatch™ 状態表示ランプ

Catalyst システムには、さまざまな状態を表示する状態表示ランプが装備されています。下表では、状態表示ランプの状態が示され、各状態が示すコンディションが説明されています。

ランプの状態	システムの状態
	緑色ライト点灯 システムは正常に動作しています。現在、処理中のジョブはありません。
	緑色ライト点滅 システムは正常に動作しています。現在、ジョブの処理中です。
	黄色ランプ点灯 システムは、ソフトウェアの起動を待機しています。
	黄色ランプ点滅 前面ドアが開いている可能性があります。前面ドアを閉めて、ジョブを進行させます。
	赤色ランプ点灯 回転トレイのブランク ディスクがなくなっている可能性があります。供給ビンに適切な種類のメディアを入れます。 システム エラーで、オペレータの操作が必要です。クライアント ワークステーションまたはコントロール センターのメッセージを確認します。 プリンタ リボンの欠如など、初期起動に発生したエラー。クライアント ワークステーションまたはコントロール センターのメッセージを確認します。

表示パネル

表示パネルには、消耗品の状態も含めた、オペレータの介入を必要とする操作または条件を知らせる、2 行のディスプレイが付いています。2 行のディスプレイの内容:

ドアが開いています:

- ライン 1: リボンとビンの番号
- ライン 2: リボン数とビン数

ドアが開いています (スクロールのみ):

- ライン 1: システム名/ディスク カウンタの表示
- ライン 2: IP アドレス/作成ディスク

初期化終了後、Catalyst システムは内蔵 PC の名前を表示します。詳細については、12 ページの「[Gemini ユーティリティの操作](#)」を参照してください。

ヒント: オペレータ パネルの右上隅に表示されるキャレット記号「^」は、Rimage ソフトウェアがオートローダと通信中であることを示します。

システム ボタン

システム ボタンは表示パネルの下にあります。システム ボタンを押して回転トレイを回転させ、ディスクの装着や取り外しができるようにビンの位置を合わせてください。システム ボタンを 1 度押し、回転トレイは次のビンまで回転します。

ヒント: 回転トレイは、ソフトウェアがオートローダの初期化を完了して初めてビンまで回転します。

ディスク ディスペンサ

ディスク ディスペンサは、ディスクを外部出力ビンに入れます。

警報器

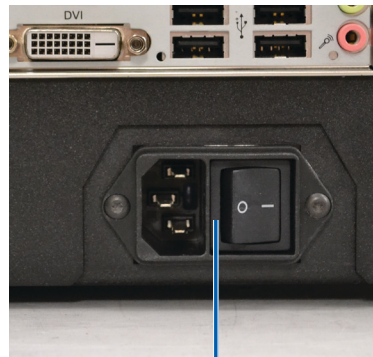
Catalyst システムは、ユーザーの介入が必要な時に鳴る警報器がついています。表示パネルまたは PC のモニタに表示されるエラー メッセージを確認し、問題を解決するために適切な操作を行ってください。警報器の設定オプションについては、12 ページの「[警報器を有効にする](#)」セクションを参照してください。

Catalyst システムの操作

このセクションでは、ディスクを作成するための Catalyst システムの準備に必要な情報を説明します。

Catalyst システムの電源を入れる

1. オートローダ背面の**電源スイッチ**を押します。
 - Catalyst 6000 をお持ちの場合には、システムに電力が供給されています。
 - Catalyst 6000N をお持ちの場合には、**ステップ 2**に進みます。
2. オートローダ前面の PC **電源ボタン**を押して、内蔵 PC の電源をオンにします。オートローダと内蔵 PC の電源がオンになります。



電源スイッチ



PC 電源ボタン

Catalyst システムの電源を切る

- Catalyst 6000 をお持ちの場合
 - 開いているすべてのアプリケーションを閉じます
 - オートローダ背面にある主電源スイッチを押し、Catalyst システムの電源を切ります
- Catalyst 6000N をお持ちの場合
 - 開いているすべてのアプリケーションを閉じます
 - Windows のスタートメニューからシャットダウンします
 - または-
 - Catalyst システムの全面にある PC 電源ボタンを短く押します。これで、ソフトウェアおよび Windows、内蔵 PC がシャットダウンされます。

力 注意: 決して PC の電源ボタンを押し続けしないでください。PC 電源ボタンを押し続けると、内蔵 PC は適切にシャットダウンされません。この結果、データが損失、または破損することがあります。

注記: システムの電源がオフになるまで約 30 秒かかります。

Catalyst システムを一時停止する

1. 操作を一時停止するには、**前面ドア**を開きます。
2. 操作を再開するには、**前面ドア**を閉じます。

Catalyst システムの操作

ディスクの装着

各ビンには、最高 50 枚のディスクを装着できます。ビンへのディスク装着は、次の手順で行います。

1. **前面ドア**を開きます。
2. **システム ボタン**を押して、回転トレイを回転させ、ディスクを装着できる位置にビンを移動させます。
3. 記録および/または印刷するディスクを 50 枚までビンに入れます。
 - デフォルトでは、CD/DVD ベースのシステムのビンは、次のように設定されています:
ビン 1: CD-R
ビン 2: DVD-R
ビン 3: 出力/却下
外部出力ビン: 未使用
 - デフォルトでは、Blu-ray レコーダのシステムのビンは、次のように設定されています:
ビン 1 = CD
ビン 2 = DVD
ビン 3 = BD
外部出力ビン = 出力/却下

重要!ディスクは、記録する側を下向きにして入れます。

ヒント:ソフトウェアの設定により、ビン 1 からビン 3 を、入力、出力、却下もしくは出力/却下、および特定のメディアの種類のに指定できます。

4. 目的のビンが一杯になるまで、**ステップ 2 から 3** を繰り返します。
5. **前面ドア**を閉めます。

ディスクの取り出し

1. **前面ドア**を開きます。
2. **システム ボタン**を押して、回転トレイを回転させ、ディスクを取り出しできる位置にビンを移動させます。
3. **ディスク**をビンから取り出します。
4. 目的のビンが空になるまで、**ステップ 2 から 3** を繰り返します。
5. **前面ドア**を閉めます。

印刷環境設定

印刷環境を設定すると、Catalyst システムで最高のディスクラベルを作成するセットアップや実行が可能になります。それぞれの印刷環境設定の手順については、プリンタのユーザー ガイドを参照してください。

Catalyst システムの保守

このセクションの説明に従って、Catalyst システムの最適な動作状態を維持してください。

概要

Catalyst システムの定期的な予防メンテナンスを行うことで、エラーのない記録ときれいな印刷ラベルが実現できます。メンテナンスでは、システムをクリーニングします。

注記: プリンタには独自のメンテナンス要件があります。詳細はプリンタのユーザーガイドを参照してください。

注意事項

力 注意: メンテナンス中に Catalyst システムの破損を避けるために:

- Catalyst システムのいずれの部品にも、オイル、シリコン、またはその他の潤滑剤を絶対に使用しないでください。
- Catalyst システム表面の清掃には、研磨剤が入っていない洗剤を使用してください。
- 内蔵 PC の清掃にはクリーナーを使用しないでください。
- Catalyst システムに直接洗剤をかけるのではなく、まずは布にクリーナーを付けます。
- 内蔵 PC を取り扱う場合は必ず静電気感性デバイスに関する注意事項に従ってください。

予防メンテナンス スケジュール

注記: システムを貯蔵庫や倉庫など埃の多い場所で使用している場合は、より頻繁なメンテナンスが必要になる可能性があります。

はじめる前に:

力 警告! 内蔵 PC を取り扱う場合は、必ずオートローダの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

1. **Catalyst システム**の電源を切ります。
2. **電源コード**をコンセントから抜きます。

重要! 以下に説明するメンテナンス スケジュールが守られない場合、システムへの保証が無効になる場合があります。

タスク	ツール	頻度
リフトアームのシャフトを拭きます。以下の部分に注意してください: <ul style="list-style-type: none">• シャフトの基部のまわり• リフトアームのすぐ上の部分	糸くずの出ない布	毎週
以下の部分を含め、オートローダの全表面を拭きます。 <ul style="list-style-type: none">• 側面と上端• ドア• 出力ビン• 回転トレイ• ベース• リフトアームの上面	糸くずの出ない布 研磨剤の入っていない万能クリーナー	毎週
システム側面のエアフィルタを点検し、必要であれば交換します。	不可	毎月
オートローダ背面の開口部を点検します。必要であれば、埃やごみを取り除きます。	掃除機	毎月

診断テスト

Catalyst 診断テストを実行することで、システムの問題に対処したり、適切な動作を確保できます。診断テストへのアクセス、選択、実行の詳細情報は、www.rimage.com/support にある『Catalyst Diagnostic (Catalyst 診断テスト)』のマニュアルを参照してください。

Gemini ユーティリティの操作

Gemini ユーティリティの操作

Rimage Software Suite には、Catalyst システムの表示名を変更し、警報器の有効化を行うために使用する Gemini ユーティリティというアプリケーションが含まれています。

ヒント: Catalyst 6000N の Gemini ユーティリティにアクセスするには、ネットワークに接続した PC からリモートデスクトップ接続を使用するか、Catalyst 6000N にモニター、キーボード、およびマウスを接続します。

注記: 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 10 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティングシステムのナビゲーションは多少異なる場合があります。

Gemini ユーティリティの開始

1. すべてのアプリケーションを閉じ、すべての Rimage サービスを終了します。

注記: 追加の情報については、Rimage Software オンラインヘルプを参照してください。

2. Windows の [スタート] メニューで、[すべてのプログラム] > [Rimage] > [Gemini ユーティリティ] の順に選択します。Gemini ユーティリティが開きます。

注記: Gemini ユーティリティで目的の作業が完了したら、必ず Rimage サービスを再起動します。

オートローダの表示名の変更

Gemini ユーティリティを使用して、オペレータ パネルに表示される名前を入力します。

1. [Override Name (名前の変更)] チェックボックスをオンにします。
2. [Use Computer Name (コンピュータ名を使用)] チェックボックスをオフにします。
3. [Display Name (表示名)] フィールドに新しい名前を入力します。
4. [Set Params (パラメータを設定)] を選択し、名前を設定します。
5. [Exit (終了)] を選択して、Gemini ユーティリティを閉じます。

警報器を有効にする

メディアがない、エラー状態であるなど、利用者の介入が必要な場合に発する警報音の数を変更することができます。

1. [# of Beeps on Fault (不具合時の警報音数)] フィールドで、エラー発生時に鳴らす警報の回数を選択します。

ヒント: 警報器を無効にするには、警報数をゼロに設定します。

2. [Set Params (パラメータを設定)] を選択し、警報数を設定します。
3. [Exit (終了)] を選択して、Gemini ユーティリティを閉じます。